書き込み年表 advanced⑬、 中国史 9(清王朝初期～中期)

（皇帝の年代は在位をあらわす）

1630

黎明期

清(1636～1912) 順治帝(世祖, 1643～1661)

明滅亡(1644)

山海関(長城の東側)の武将、呉三桂投降

清、入関　山海関突破、北京遷都(1644)

(南明)
明の遺臣、南京を都として抵抗

(ロシア、シベリア探検)
太平洋岸到達(1638)
黒竜江に到達(1644)
ロシア、東に領土拡大

辮髪令(1645)　漢人に辮髪を強制

1650

「頭を留むるには髪を留めず、髪を留むれば頭を留めず」

(投降した武将)
呉三桂
尚可喜
耿継茂

南明討伐

永明王、呉三桂に捉えられる(1661)
中国平定

ロシア、清と衝突(1652)

康熙帝(聖祖, 1661～1722)

遷界令(1661)
沿岸の住民を内陸に強制移住
(台湾の鄭氏に抵抗)

三藩　功績ある武将に所領
雲南　呉三桂
広東　尚可喜
福建　耿継茂

鄭成功台湾攻略(1661)

鄭氏日中貿易で利益

(外モンゴル)
ジュンガル部(オイラトの一部)
外モンゴル、チベット、青海(チベット高原北東部)を平定

三藩の乱(1673～1681)
呉三桂清に反旗「反清復明」

三藩の乱平定(1681)

鄭氏滅亡(1683)

ピョートル1世(大帝, 1682～1725)

鄭氏攻略、台湾領有(1683)

ネルチンスク条約(1689)

中国東北地方の国境を画定
外興安嶺とアルグン川の線を国境とする

ネルチンスク条約(1689)

1700

ジュンガル征伐(1696)

外モンゴルを清領とする

モンゴルにて徐々にロシアと国境を接する

全盛期

チベットにてジュンガル軍撃退(1720)

チベットを版図に

イエズス会士の布教、西洋の知識の紹介と典礼問題

フェルビースト「坤輿全図」作成
(「坤輿万国全図」を改訂, 1674)

ブーヴェ「皇輿全覧図」
(中国国内を実地測量)

イエズス会士の布教
西洋の科学技術などを伝えながら布教を行う
典礼を容認しつつ布教

典礼　孔子の崇拝や先祖をまつるなどの伝統的儀礼

イエズス会士の伝道許可(1692)

イエズス会ローマ教皇より異端とされる(1704)

ドミニコ派やフランチェスコ派、イエズス会の典礼容認を非難

康熙帝、イエズス会以外の宣教師追放(1706)

「康熙字典」完成(漢字字書, 1716)

康熙帝、雍正帝、乾隆帝3帝に渡る文化事業

地丁銀制の実施(1717)　人頭税の実質廃止

1711年の成人数を基準として、それ以降の成人は課税対象から除外
丁銀(人頭税)を地銀(土地税)に組み込み、一括して徴収

税金は土地にのみ課税される

雍正帝(世宗, 1722～35)

キリスト教禁止、宣教師追放(1724)

「古今図書集成」完成(百科事典, 全1万巻, 1725)

キャフタ条約(1727)

ロシアとモンゴル方面の国境の画定

(ロシア)
キャフタ条約(1727)

軍機処設置(1729)

最初ジュンガル部征服のための軍事機密期間
後に内閣に代わる政治上の最高機関に

1750

乾隆帝(高宗, 1735～1795)

広行(コホン)に貿易を独占

ヨーロッパ船来航を広州に制限(1757)

制限貿易を行う

(インド)
カーナティック戦争(1744～1761)
プラッシーの戦い(1757)
両戦争でイギリスがフランスに勝利

ジュンガルを平定(1757)
回部(ウィグル)を平定(1759)

平定した領土をまとめて新疆(しんきょう)と称する

「四庫全書」(古今の書物を集成、全7万9582巻, 1782)

イギリス、茶、絹織物陶磁器を中国より輸入

茶の輸入により貿易赤字(清との間で)

インドにてイギリスの覇権成立

イギリスのマカートニー来朝(1793)

三跪九叩頭の礼を要求
三度ひざまずき、その度に三度頭を床に付けて拝礼する

清側　貿易を朝貢とみなし、英にも臣下の礼を要求

交渉決裂

市場拡大のための対等な自由貿易を要求

(ロシアのラクスマン日本に来航(1792))

白蓮教徒の乱(1796)

元末の紅巾の乱より、明・清の時代に地下活動続ける
八旗・緑営(正規軍)の腐敗、弱体化が露呈、国力消耗